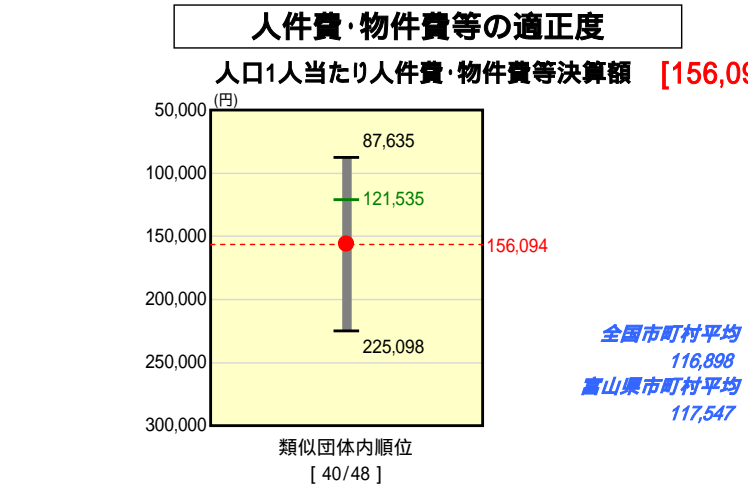
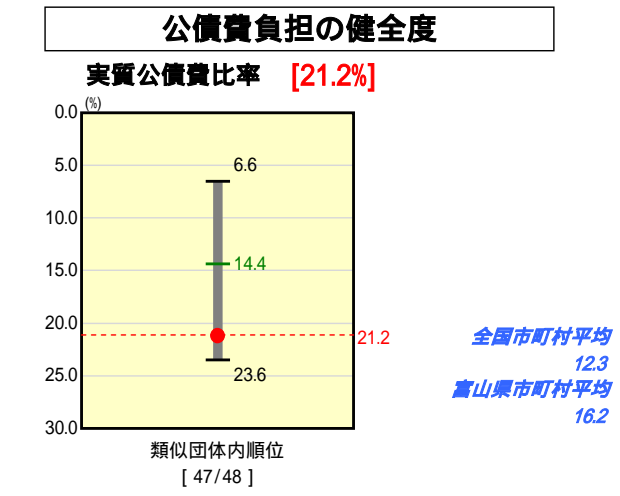
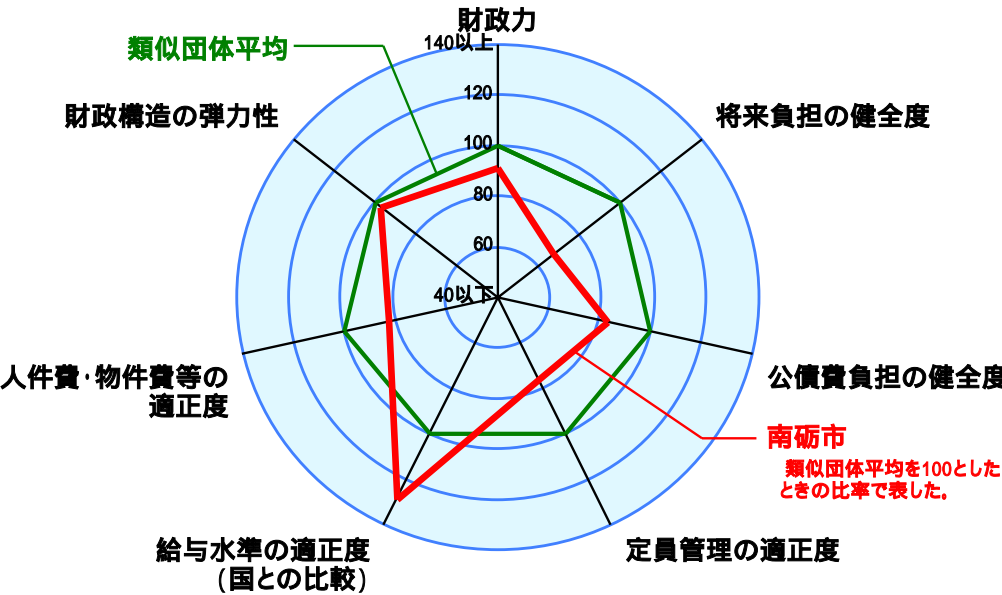
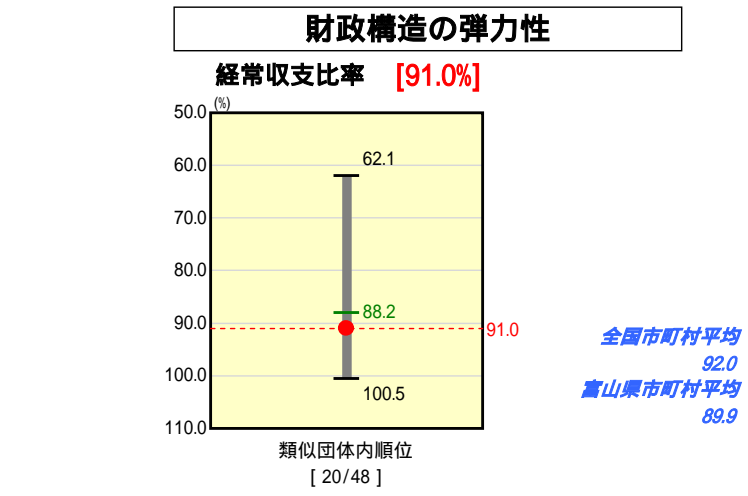
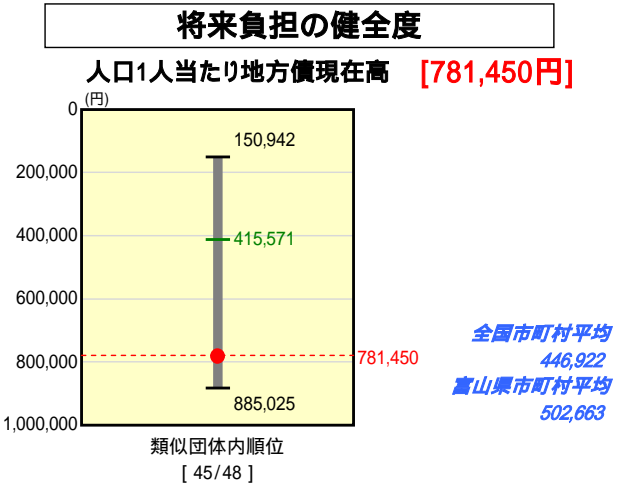
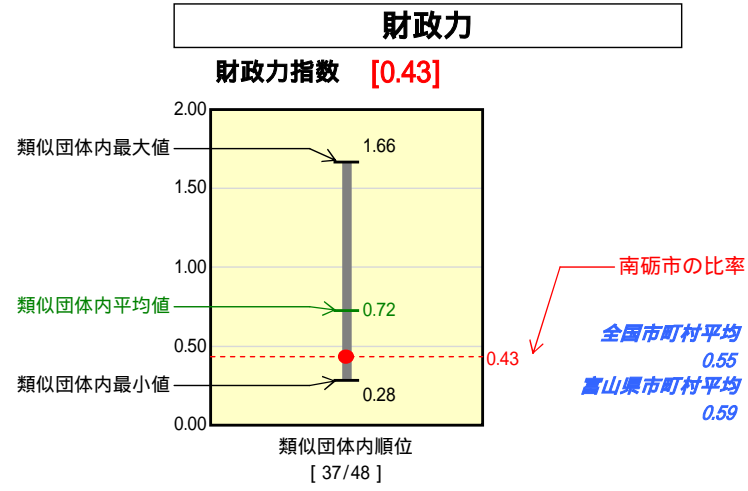


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

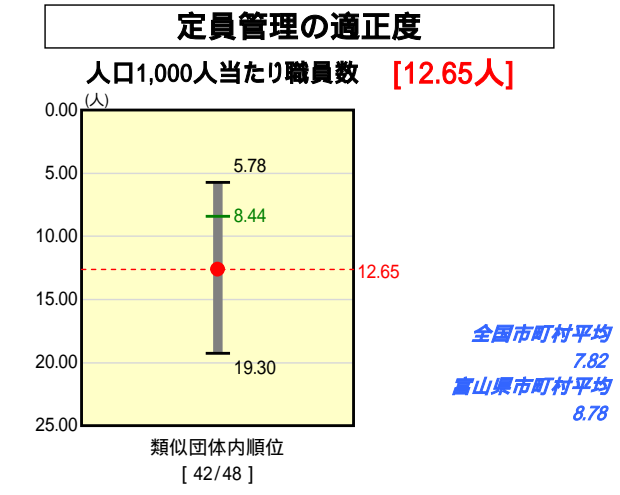
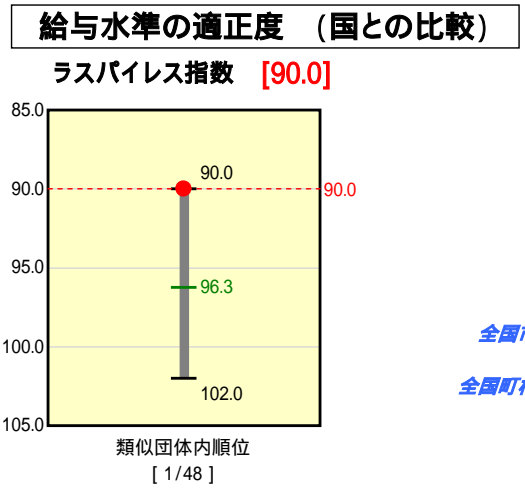
富山県 南砺市

人口	57,452人	(H20.3.31現在)
面積	668.86	km ²
歳入総額	34,688,655	千円
歳出総額	33,935,446	千円
実質収支	691,808	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

【財政力指数】
景気の好転による法人住民税の伸びにより基準財政収入額が増額したことで、当該指数が改善している。今後、税収の徴収体制を強化すると共に、企業誘致や人口増対策などにも引き続き取り組みながら、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
類似団体に比して大きな職員数や公共施設数などにより、当比率が高くなっている。予算編成でのマイナスシーリングの効果により今年度は数値が改善しており、今後も引き続き、コストを意識した予算執行や職員数適正化、類似公共施設統廃合、高利率地方債繰上償還などを行い、総合計画で定めた90.0%以下の早期達成に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費や公共施設の維持管理費に要する経費が高み、当該決算額が大きくなっている。しかし、行政改革の進捗したこと、当初予算編成時にマイナスシーリングを設けたことにより、当該指数は改善している。今後も引き続き、職員数適正化や類似施設統廃合、指定管理者制度の積極的な導入を行い、コストの低減を進める。

【ラスバイレス指数】
合併以前からの給与水準や体系を引き継いでおり、当指数は類似団体内で最低となっている。今後も引き続き、給与水準の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
職員数の適正化を計画的に進めている効果から、昨年度と比して職員数は6%減と大幅に改善している。今後も引き続き、組織体制の見直しや退職者の3分の1補充、早期勤奨退職の実施により、合併後10年で200人減員を目指す(病院事業を除く)。ただし、人口の減少が大きく、指数に取り組みの効果が反映されないのは、残念なところ。

【実質公債費比率】
既発債の繰上償還を進めた結果、単年度の当該比率は改善している。今後も引き続き、繰上償還や投資的事業費の縮減、普通交付税措置率の高い地方債の活用、地方公営企業債の償還への繰入金圧縮などにより、公債費負担適正化計画で定めた年度(平成26年度)より早い時期での18.0%以下達成に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
充当率の高い地方債を優先的に使っているため、類似団体に比して数値が高い。合併後は、積極的な繰上償還と新規発行の抑制を行っていることから、地方債残高総額は前年度から28億円減少し、指数も改善している。今後も、引き続き残高の圧縮に努める。